

Dec. 15

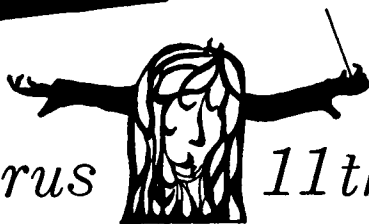
6:30p.m.

HEIMAT Chorus

11th Annual Concert

KINROKAIKAN HALL

KYOTO UNIV. ON-KEN



'72 HEIMAT

母なる故郷よ

苔水のしたたりに

静まる山々

母なる故郷よ

美しい青空に

さわさわと

木々はさわめく

父よ母よ

故郷の地よ



ごあいさつ

本日は寒さの中を私達の演奏会によるこそお越し下さいました。

ハイマート合唱団が京都大学音楽研究会の合唱部門として誕生して以来、すでに10年余りの歳月がながれました。しかし、幅広い音楽活動と高い音楽性に対する熱意を、私達は今もなお変わらずに持ち続けているつもりです。今宵の演奏の中に、音楽に対する私達のこの熱意を少しでも感じとっていただけたら幸いに存じます。

どうか最後までごゆっくりお聴き下さいまして、きびしい御批判と変わらぬ御指導を下さいますようお願い申し上げます。

なお終わりにりましたが、本年も私達のために客演指揮して下さいる伊吹新一先生、並びに伴奏して下さいる高橋一男氏、エレクトーンをお貸しいただきました日本楽器製造株式会社に厚く御礼申し上げます。

1972. 12. 15

マネージャー 小林 英俊

第11回定期演奏会

／ 京都大学音楽研究会

ハイマート合唱団

PROGRAM

I 四つのスロヴァキア民謡

バルトーク 作曲

高田 三九三 訳詞

指揮 古市 真

ピアノ 関谷 真

鳥

家路

踊り

風笛

II 「智恵子抄」より

高村光太郎 作詩

清水 脩 作曲

或る夜のころ

指揮 岡田 重信

巻末のうた六首

ピアノ 矢沢 千絵

III 岬の墓

堀田 善衛 作詩

團 伊玖磨 作曲

指揮 古市 真

ピアノ 北岸 恵子

Sop.Solo 加藤 信子

Alt.Solo 竹中和代

——— 休

憩 ———

Ⅳ 山田耕筰作品集より〔増田順平編曲〕

客演指揮 伊 吹 新 一

エレクトーン 高 橋 一 男

朗 読 西 原 秋 子

この道 (北原白秋)

青 蛙 (三木露風)

あわて床屋 (北原白秋)

砂 山 (北原白秋)

青い小鳥 (川路柳虹)

洗濯媼さん (川路柳虹)

ペィチカ (北原白秋)

待ちぼうけ (北原白秋)

Ⅴ モ テ ッ ト

J. S. バ ッ ハ 作 曲

„Singet dem Herrn ein neues Lied“ (BWV225)

＜主に向かいて新しき歌を歌わん＞

指 揮 関 谷 真

四つのスロヴァキア民謡

ベラ＝バルトーク（1881～1945）はハンガリーの生んだ最も偉大な作曲家である。彼は同国人コダーイと協力して、東ヨーロッパ各地の民謡を採譜・分類し、彼自身もその民謡を用いて、多くの合唱曲や器楽曲を書いている。彼が採集した民謡は数万曲にもものぼる。東ヨーロッパの民族音楽研究はバルトークによって創始され、発展し、完成したと言えるだろう。この事は十分に評価されてよい。しかし、現代に於ける彼に対する評価は、この事だけに規定されるべきではない。十二音でも無調音楽でもないことから、彼の作品はともすれば「民族主義」の一言で片付けられがちである。たしかに民族主義は彼の作品、あるいは生活態度に於ける一つの基調であった。しかしながら、多くの音楽家がそうであったように、バルトークもまた、いくつかの作風の変遷を経験しているのである。

それならば、彼の本質とも言うべき作風は一体どんなものだろうか。それはおそらく「多調性」ということだろう。彼の書いた楽譜の多くに調子記号が示されていないのも一つのあらわれである。バルトークの音楽は、無調でも十二音でもない調性を根本とする彼独自の音階（バルトーク音階とも言おうか）を持っている。しかし、この調性から脱出できなかったことによって非難されるべきではないだろう。それは彼独自の音楽の宇宙は、現代音楽の一つのカテゴリーとして認められ得るからである。たとえそれが、「マイクロ＝コスモス」であっても。

『四つのスロヴァキア民謡』は1917年、バルトーク36才の作品である。第一曲『鳥』は、悪い男のもとに嫁いだ娘が鳥となって母親の所に戻って来るが、母は邪険に追い払うといった悲しい抒情性にあふれた曲で、これ程抒情的な民謡が本当にあるのかと思うくらいである。第二曲『家路』は典型的な多調性を示している。へ長調で始まり、変

ホ長調へ移りへ長調で終わる。仕事を終えて家路につく農民の歌で、広大な麦畑の拡がり―他の所ではないスロヴァキアの畑を思わせる。第三曲『踊り』、第四曲『風笛』は、ともに農民の祭りの歌で陽気ではあるが、やはりそこには底抜けの明るさではない、何か東欧に於ける「アジアの血」というものを感じさせるものがある。

『四つのスロヴァキア民謡』は、もはや純粹の民謡とは言えない。しかしそこには、バルトークの音楽と民謡とが混じり合った、短いけれども一種独特の珠玉の様な世界が輝いているのである。（文責 S. M.）

ある団員より

僕がバルトークの曲を歌うのは、今年が2回目である。昨年『四つのハンガリー民謡』を歌った時には奇妙なリズム（5連符や変拍子）と独特の和声（不協和音のハーモニー）とに翻弄されてしまった。僕達は普通、合唱とはハモルものだという考えを持っている。ところが、それが根底からくつがえされてしまったのである。おかげで愛唱歌がハモラなくなったというエピソードまである。

しかし今年は、団員すべてがバルトークを楽しんでいるようである。ハーモニーが単純なためか、メロディーが美しいためか、それとも民俗音楽に親しんできたためかはわからない。少なくともバルトークに異和感を覚えることはなくなったようである。（M. K.）

ご存知でしょうか？

ワインは他の酒類に比べ、特に灰分、カルシウム、鉄分等を多く含み、唯一のアルカリ性飲料で健康と美容のお酒と云われて、パッカスが最初のぶどうの樹を植え、初めてその汁を搾りだした時以来、ワインは讃美され、世界の国々で愛用されてます。美酒を小さなグラスに盛ることは、オペラ座のオーケストラを小劇場の舞台にのせることに等しく、料理の風味を注意深く調和させ引立たせ一層楽しく美味しく召上れます。

色々変るスープと仔牛の煮込み等の特別料理は、他の追従を赦るさぬ最高の料理です。失われつつある手造りの味をお楽しみ下さい。



- 円 居＝百万辺店＝レストラン＝百万辺下ル西入ル＝(771) 7736
- まどい＝近 衛 店＝喫 茶＝東山近衛東入ル＝(771) 0484
- 左 近＝三 条 店＝ステーキ＝三条木屋町角＝(241) 4013

智恵子抄

清水脩と智恵子抄

高村光太郎の詩集『智恵子抄』が出版されたのが、昭和16年の秋。清水脩はこの愛情の詩に感動し、昭和30年から現在にいたるまでに、『智恵子抄』の中から17の詩に作曲している。そのうち12曲が歌曲、5曲が合唱曲である。

清水脩はこう語っている。

「私が『智恵子抄』にうちこむすがたを人は何というであろうか。これという理由がなく、私はこの詩集にひかれつつけている。……（中略）男と女の二つの存在。なぜこの二人がそうならねばならなかったのか。私はそこに、ことばでは言えない精神の飛翔を見るおもいがする。私はそれを音に託して表現したいのである。」

『或る夜のこころ』

夏の夜の恋人たちの散歩のなかにある楽しさと不安とを歌った象徴詩である。大正元年8月の作。

『智恵子抄巻末のうた六首』

この曲は、主題と6つの変奏からできている。

主題、変奏Ⅰ 智恵子を失った光太郎のさびしさ。「智恵子」と口にするだけでも光太郎の胸はいっぱいになる。

変奏Ⅱ 自分の愛する者が気ちがいになる。いくら苦しみ悲しんでも、どうすることもできないくやしき。これをぐっとこらえる光太郎の気持ちが描かれる。

変奏Ⅲ 初夏の九十九里浜は美しい。渚では狂った智恵子が千鳥と戯れている。「防風林の夕日の中で、松の花粉をあびながら」智恵子を見ている光太郎の姿がいかにかきくしいことか。

変奏Ⅳ 智恵子は光太郎の芸術の共感者であり、ささえであった。

変奏Ⅴ 智恵子の死後、アトリエで一人目をつぶれば、

ありし頃の智恵子の思い出がよみがえってくる。

変奏Ⅵ 光太郎と智恵子が二人で築いたたぐいなき夢。充足感をもって堂々と歌いあげたい。愛において永遠なるものを『智恵子抄』に見出し得るのである。

『智恵子抄』には「人に」、「郊外の人に」、「亡き人に」と題する詩があるが、それに囚んで今宵の演奏に「私の心に今なお生きつづける人に」という副題を設けたい。

（文責 S. O.）

ある団員より

合唱の中で最も素晴らしいのは男声合唱であろう。甘く繊細な（？）テナーと、どっしりとゆるぎもしない（？）ベース。聴衆（特に女性）をしばれさせるには十分な要素をもっている。パッチリとハモった時の満足感他ものにはかえがたい何かがある。すべての男性諸君よ、大いに歌おう！そして神が男性のみに与えたもうたこの特権を大いに満喫しようではないか。

さて今回の『智恵子抄』であるが、私は指揮者の岡田君のこの曲に対する熱意に動かされてやる気になった。詩集『智恵子抄』を読んでみて、光太郎の智恵子に対する純粋な愛、光太郎が生涯を通じて示す永遠の愛、絶対的な愛にふれることができ、一種独特な感動を催した。（まだ『智恵子抄』を読んでいない方には私たちの演奏ののちにぜひよまれることを切望する）この曲は2曲ともすてきだが、私はとくに『巻末のうた六首』の最後の歌が好きである。これが詩集『智恵子抄』の最後の歌であり、そこにはアトリエでのなつかしい日々を思うおだやかな調子の中にも、言葉にならない心の交錯や光太郎の愛の永遠性が秘められているからである。こんな私自身の感動や岡田君の熱意を聴衆の皆さんに伝えることができるよう、精一杯歌うつもりである。

（T. T.）

名 曲 茶 房

（リクエスト有）

ゲ ー テ

京・銀閣寺電停前
TEL 761—0837

諸 官 庁 学 校 指 定

靴 の デ パ ー ト

株 式 会 社 京 屋

銀閣寺電停上ル
電話 (721) 2000・1900

TEA & SNACK

COBAN

吉 田 神 社 北 隣
TEL 761—8939
AM 9:00 ~ PM 9:00

岬 の 墓

作曲家、團伊玖磨はこの詩について次の様に語っている。

「これは深い詩である。白い墓の下に仄暗く存在する過去、青くひろがる海——現在に漂う船で象徴される我々自身、自己、そして、水平線の彼方に光る未来。人間の心の中にバランスを構成するこの四つの支点を骨格として、人生の姿を、永遠に解き難い人生の謎を、絶対の真理——赤い花——に問いかけるこの詩は、制約された簡素な表現を、その深い内容によって我々を厳しい内省と思索の世界に誘わずにいない。この詩の湛えるものは、単なる抒情でもなければ描写でもない……」

紺碧の海に漂う白い船、そこに私たち青年が象徴されており、船出してゆく青年の姿にこの曲のテーマがある。

情景が力強く、視覚的に極めて鮮明に印象付けられる、やがて、白い船の船出を決意した事が歌われる。翼をひろげ、未知の世界に向って羽ばたこう、波の調べにゆられつつ……と。最も明るく、優しく、さわやかな所である。

しかし白い墓の下にある永遠の暗き休みの招きが、一方にある。そこは、現在生あるすべての者の出発点なのである。そしてまた墓が、自己の過去や世界の全歴史と同じく、未来の自己の死をも意味するとすれば、そこは出発点であると同時に帰着点であるかも知れない。何をしても、何もしなくても同じ……、そうした虚無感、ともすれば青年の陥りやすい心情であろう。

ついに青年は船出してゆく。その虚無感にうち勝って。常に前進しようとする意欲、未来に対する希望が一途な力強さで歌われている。その根底にはやはり、出発点と帰着点とは決して同じではなく、私の未来も世界の未来もそれぞれの過去とは異なるものに発展してゆくという信念があると思う。最後には白い墓も出発した船を暖かく見つめている……あたかもそうすることが真理の意志であるかの様に。

出発した船が何を絶対の真理として手に入れるかは、永

遠の疑問につつまれている。絶対の真理とは、本当に完全に絶対なのか。それとも花が年毎に花弁を落とし、また必ず花開く様に……。それこそ永遠の疑問である。

この歌は深い象徴詩に簡潔で力強い曲想を付けて、見事な音楽に仕上げられている。澄んだハーモニー、自由な転調、オーケストラを思わせる様なピアノ伴奏、また詩のついていない経過部分やイントロにあらわれるA音、O音、M音、N音等大切で、すべてに細かい注意が要求されている。
(文責 M.F.)

ある団員より

この曲を歌うと、私はいつも春の合宿で行った、瀬戸内海の真鍋島の丘の上からみた海を思い浮かべてしまう。明るい春の陽ざしに満ちあふれた海。無限の抱擁力を内に秘めながら沈黙する海。私たちの乗っている船を激しい風で散々に翻弄した海は、一夜明けるとうそのような静けさで、キラキラと輝く白いレースのような波がよせていた。團伊玖磨は八丈島でこの曲を書いたという。彼は海が好きだ。彼の海への愛情はこの曲に満ちている。「きららに光る入江の青に……。」「深くなめらかに輝く……。」「というところ……これらは詩全体から見ればそれほど重要なことではないが、こういうところにこそ作曲者の面目躍如たるものがある気がする。しかし詩そのものは深く読むと、大変内省的なものであって、海や墓や船や赤い花はそれぞれ私たちの人生のうちに象徴的な意味をもたされている。これらは単なる描写ではない。それにもかかわらず、私はこの曲全体を通して明るい海のイメージに包みこまれているように感じる。その美しさを十分に生かしながら、詩の要求する高い精神性をいかにして出すか……私たちはずいぶんと大きな課題を担っているのである。

(K.T.)

クリスマスケーキもやっぱり

ブッシュ ド ノエル



古木をかたちどった独特のケーキです

ドンク

ご予約はお早目に

フランス菓子ドンク

京都店

TEL 701 - 6141

1000円・1500円・2000円

岬の墓

堀田善衛詩

日は高く
海の^へ辺の丘に
上^あって見^み下^{くだ}せば
きららに光る入江の青に
休^{やす}らう 白い美しい船
紺碧^{そら}の空から舞い下りて
水に休^{やす}らう美しい船

日は高く 海に
丘の^へ辺に影一つのこさず
岩の間に咲く 赤い花
日は高く 影を^{うば}奪い
透明な海の風に
この岬の白い墓

美しい船よ
大なる白鳥のように
休^{やす}らう美しい船よ
翼^{つばさ}をひろげ船^{ふね}出せよ
深く滑らかに輝く別の大洋をめざして
波の調べにゆられつつ

この丘の辺の白い墓
影一つない真昼の丘に
白い墓
その墓の下にこそ
永遠^{やす}の休^{やす}らいと暗い影
暗き休^{やす}らいはあり

美しい船よ 白い船よ
船出せよ
彼^{かなた}方にひろき水平の
その彼方へと

白い墓よ
その石の裂け日から
暗い影なる休^{やす}らいの
ことばを語れ

日は高く
真昼の海と
真昼の丘の^へ辺に
永遠は光とたわむれ
風は何を語るや
海は波立つ

白い船美しい船
白い 影なす墓の休^{やす}らい
日は高く
丘の^へ辺の白い墓は
美しい船を見詰めている

岩の間に咲く赤い花に
われら何を聞こう……………。

Café

フランス・パン
ホット・ドック
ケーキ

進々堂

京大北門前
TEL 701 - 4121 (代)

RESTAURANT & COFFEE

B O N

左京区百万辺西入三筋目 TEL (771) 0632

山田耕筰作品集

客演指揮 伊 吹 新 一

日本における近代、現代の音楽史を語る時、私達は山田耕筰の存在を忘れることはできない。彼は作曲家、指揮者として、まだ西洋音楽を移入して間もない日本の音楽界を世界的水準にまで高めた最大の指導者であった。作曲家としては、数多くの歌曲、『黒船』などの歌劇、交響曲などの管弦楽曲を作曲し、また指揮者としては、日本楽劇協会、日本交響協会（現在のNHK交響楽団）を創立、育成するなど、内外にわたって活躍した音楽家であった。

しかし、なんといっても私達にもっともなじみ深いのは彼の歌曲、それも童謡であろう。『この道』『ペイチカ』『待ちぼうけ』などの作品を口ずさむ時、たちまち私達はあの夢多かりし幼年時代のなつかしい思い出へと誘われる。

ところで、これらの曲を通して特徴的なことは、詩の韻律を生かすように工夫された微妙な拍子の変化、西洋的手法を使用しながら、しかも決して外来のものという印象を与えぬ和声構造、詳細かつ適切に記された発想記号などが、わずかに数分の小曲のうちにも最大限に駆使されていることである。つまり彼にとっては、単なる童謡いかなる小曲といえどもりっぱな芸術歌曲なのであり、しかもそれらの基盤にはどこまでも日本人の繊細な感受性が流れている、といつてよいであろう。

本日は、この山田耕筰の親しみ深い童謡の中から8曲を増田順平編曲の混声四部合唱によって演奏する。

(文責 H. S.)



京都に生まれる。立命館大学法学部卒、京都市立音楽大学指揮科卒、斎藤秀雄氏に師事。現在、堀川高校音楽コース教諭、及び京都芸大講師。また大谷楽苑合唱部、立命館大学交響楽団、京都市民管弦楽団の常任指揮者として活躍しておられます。

先生に私達の演奏会の指揮台に立っていただくのも、今年で7年目になります。その間ずっと、御多忙な時間をさいて私達の指揮をしてくださっている事を、私達は感謝し父誇りに思っています。今までとはがらっと趣をかえて、山田耕筰の作品を振っていただくことになりました。生き物のような棒先と表情豊かなそのマスクとで私達を厳しくリードしてくださり、いつしか私達を音楽とメルヘンの世界へ引き込んでしまわれるのです。(M. K.)

エレクトーン 高 橋 一 男

昭和3年京都に生まれる。京都市立美術専門学校（現京都芸大）中退。林二郎氏に師事、《高橋一男と楽団クンパルシータ》結成。現在、十字屋楽器店指導講師——日本楽器エレクトーン京滋地区チーフ講師。

喫 茶・軽 食

玉 蘭

農学部前 771-3361
出 町 231-7891

フランスパンと
ドーナツの

(有) 山田製パン所

本店 左京区浄土寺下馬場町
TEL 771-5743
東店 左京区浄土寺下南田町
TEL 761-3780

皆 様 方 の

鈴 蘭 食 堂

東一条電停西入ル南側

モテット 《主に向かい新しき歌を歌わん》

バッハのモテット

モテットというのは、もともとカトリック教会で礼拝に際して歌われるラテン語の歌詞をもつ合唱曲のことであった。しかしバッハのモテットは、プロテスタントの教会音楽でドイツ語の歌詞にもとづくものである。今日7曲残されているが、うち4曲は故人の埋葬にさいして書かれている。バッハの教会音楽の多くが彼の死後演奏されなくなり、メンデルスゾーンによる『マタイ受難曲』の復活演奏まで忘れ去られていたときにも、ただ一つモテットは忘れ去られずに演奏されつづけていたという。このように当時からモテットの人気が高かったのは、無伴奏合唱曲としてのモテットが、他の壮大な受難曲や教会カンタータよりも一層純粋な形で、聴く者の心に宗教的感銘を与え得たからだと思われる。

音楽は一般に人間の感情を表わすものと考えられているが、バッハの音楽を聴いてそこにいかなる感情が表わされているのかをくみとるのはなかなか容易なことではない。それはバロック時代の音楽語法がわれわれの普段慣れ親しんでいるそれとは異なるからである。

そもそも音楽が人間の内面的な感情をことこまやかに表現するようになったのは、長い音楽の歴史からみれば比較的最近のことで、それまでの音楽の多くの部分はもっぱら宗教のために書かれていた。宗教音楽には確かに喜びや悲しみの表出がないわけではないけれども、ここに表わされる感情は非個人的な、つまりすべての人間に共通のものであった。すなわち、バッハやバレストリーナが宗教音楽を書いたとき、それは自分個人の祈りとして書いたのではなく、すべての人類の祈りとして神に歓びの気持ちを表明し、苦悩を訴えたのである。したがって当時の作曲家にとって自分の個性を作品の上に表わすことは、あまり興味のある課題ではなかった。もしバッハの作品に強い個性の刻印が

みられるとすれば、それはある意味で結果的なものなのである。バッハが偉大であるのは彼が新しい表現法を創造したからではなく、当時開発されていたすべての作曲技法を自在に駆使して、曲に真に深い感動を盛ることができたからだといえよう。

このように考えていくと、バッハの音楽はわれわれのその時の刹那的な気分共感するものでは決してなく、もっとその根本に存在する揺るがない感情に訴えるものだ、ということがわかってくるにちがいない。すなわち、悲しいときに聴く悲しい音楽、あるいは嬉しいときに聴く嬉しい音楽というのではなく、人間の心の奥底に普遍的に存在する人間としての悲しみや喜びに直接訴えかける音楽なのだ、ということが。(文責 M. S.)

ある団員より

私達は数年にわたって宗教曲を取りあげてきました。モーツァルトの『レクイエム』のような大曲から、バレストリーナの『モテット』のような小品まで（とは言ってもそれは全体から見ればほんの極小部分でしょうが）。そのたびに宗教を持たない私達が宗教曲を歌うというのはどういう意味があるのかという問が寄せられました。多くの場合その答は、音楽のもつ普遍的なものが宗教を超えてある感動を伝え得る、そのような立場で宗教曲をとらえ、演奏することが可能であるというものでした。

が、歌詞はどうでしょう。私達はこれらの宗教曲をラテン語あるいはドイツ語で歌ってきました。これは音とことばとの密着性を考えてということでした。しかも、このことはむしろ別の効果(?)を私達にもたらしていたようです。一つ一つのことばが具体的イメージとして自分の中に深く入りすぎないという点です。そのため宗教曲は音の連なりとして私達の心に比較的抵抗なく入りこんできたようです。

ところが、このバッハの『モテット』の歌詞をみても、歌詞はそんな形で行き過ぎてしまっているものとは思えなくなります。神の栄光への讃美と人間の空しさとのモテットの歌詞はみごとにその音楽と一つになっているように聞こえます。宗教を持つとか持たぬとかにかかわらず宗教曲の歌詞にも普遍的なものを見だし得るという結論にやっと帰ってきたような気がしています。(M. H.)

旨い！ 安い！ が 樽 の 味

てっちり…(その他) 水だし料理
御席・御予約承ります

樽

木屋町店：木屋町三条下ル TEL (221-1461) 4・00pm~12・00 pm
ぎをん店：花見小路四条上ル TEL (531-3223) 4・00pm~4・00 am

関 谷 真

指揮者として2年目、漸く彼の指揮もみんなから承認されるようになった、と言うより団員の方がとうとう順応させられてしまった。彼は、数式の操作を思わせる純粋な音楽のみを持って登場した。曲に独自のイメージを与えるでもなく、歌い方について強い要求を出すでもなく、いつも「この曲は美しい」と、ただ一通りの形容詞で片付けてしまうだけ。又、指揮者は団員の中心という観念など、全く知らぬが如く、ただ黙々と指揮棒を操り続けた。指揮者は、指揮、団員との接触の両面で強烈な個性を発揮すべしという考えが常識となっていたハイマートの内で、彼が唯一意気投合する伴侶であるバッハと共に居坐り、その無味乾燥とも見える音楽性のみによっていつの間にか血気盛んな団員の信頼を獲得している。そして今や逆にバッハのモテットによって攻勢をかけ、団員の目を指揮棒の先に吸いつけ、壮大な音の世界を作り上げようとしている事實は、ハイマート自体の変化とも見うるのではなかろうか。2年目にして全く腹の立つことだが、彼に快哉を叫ばれそうである、「僕のようなのが真の指揮者だ」と。(Y. T.)

古 市 真

彼が初めて指揮棒を握ったのは若冠一回生の12月。以来、ちょうど2年間、黙々と振り続けてきた。元々あまり大きくない眼が眼鏡の底に埋もれている。「僕はロベただからなあ」というように首をかしげて、言葉を探す彼を見る事がしばしばある。自己主張をする事はどうも苦手らしい。そんな彼の2年間の指揮者生活は、必ずしも楽ではなかったろう。今夜のステージでは、しかし、彼がぞっこん惚れ込んでいると言う「岬の墓」を中心として、思いのたけを表わしてくれると思う。彼はハイマートではどちらかと言えば目立たない人物だが、一団員として歌う時は、伝統のテナーバカを継承する者ここにありとばかり調子に乗って、「飛び出さないように」と注意されることもしばしば。そんな気のよい、ユーモア好きののんびり屋だという事も、指揮台上の後姿から想像できるのでは……。 (N. K.)

岡 田 重 信

「俺は男だ！」—これが彼の口ぐせである。これほど我らのメンネル指揮者をよくわかるさせる言葉は、他にあるまい。

酒を飲んで一晩中恋愛論をしゃべりまくる『智恵子抄』に感動して涙をながす彼。「何もかも忘れて女を愛せない奴など、この曲を歌う資格はない。」と猛語する彼。「この曲を歌う時には、自分の彼女を頭の中に描いて、その人に捧げるつもりで歌え。それ以外のことは考えるな！」と指示をもする彼。

「男とは情熱を持つ生き物だ。」との信念のもとに、まるで1日が30時間もあるかのよう、練習に、委員会に、コンパに、そして講義に飛び回る彼。そんな彼がつぶれはしないかと団員は心配するが、そうした気遣いを顧みもせずやはり飛び回っている彼。

そういった彼をメンネルの指揮者に持ったことを、我々はしあわせに思う。(M. K.)

純 喫 茶
ビュッフェコーナー

凱 旋 門

京・河原町三条下ル二筋目東入ル
TEL(221)0855・2755

役 員 お よ び 団 員

顧問
マネージャー
サブマネージャー
ヴォイストレーナー

高安国世 芦津丈夫
小林英俊 下村豊
岡田重信 天野真由美

森池日佐子

Sop.

Alt.

Ten,

Bas.

橋堀加平
○天森
◎矢佐中西宮
本田藤岡筒下沢脇島村本
万里子愛子子子子子子子
信俊裕裕千敦佐和初
文IV
文IV
農III
薬III
薬II
文II
文I
農I
文I
法I

井萩鎌山
□岡笠越
◎竹小長林川村
手田田本丸川中原峰瀬田
路千博絹浩智満和喜恭泰正咲
代果子子子子子子子子子子子
農IV
農IV
文III
法III
薬II
農II
文II
文I
薬I
文I

野森石高安能古京小指
○安能古京小指
◎松川山
呂川達田市島林方原井合本
利秀泰章政英秀俊郁伸
治明樹治生秀真徹俊雄二夫幸拓
工修I
工修I
文IV
法IV
経III
農III
理II
工II
文II
工II
法理I
工I

今小中荒有坂関伊小鈴岡川坂下
井柳川川田上谷藤森木田田戸村訪原藤辺木
昭宗正義五重清省健隆哲利信
夫滋司夫之恵真潔周一信司三豊二久弘行弥
工修II
工修I
文IV
文IV
工IV
理IV
工III
経III
農III
経II
工II
工II
法II
工II
文I
文I
工I

◎ パート・リーダー
○ パート・サブリーダー
□ パート・マスター

貴男女の部屋

アドリア

左京区北白川電停 100m上ル
TEL 781-7962

和洋定食の

花菱

東一条万里小路西入ル

古書最高買入

竹岡書店

銀閣寺電停西入
TEL 761-4554

SNACK & COFFEE

MILLION

左京・百万辺・西入ル
TEL 781-8910

カメラ・8ミリ・
カラープリント・DPE

カメラのシンセイ

(ダイワ改め)

銀閣寺店 TEL 711-2841
松原、山科、木幡、西大寺店

喫茶・洋菓子

やき肉と中華料理

ドルメン

百万石

左京区百万辺東門前町
TEL 781-9541

宴会コンパ承ります。 深夜3時まで営業
百万遍本店 791-7007
四条大宮店821-1599 洛北店791-197

京大と共に70年

理髪

美留軒

ランチの店

フレッシュランチ

中華料理

…本場の味でおなじみの…

東園

京大時計台 TEL
(771)2964

左・百万遍電停前
TEL 771-4955

東一条電停西入 TEL 771-4908

東一条
教養部
美留軒

すっかりうまれかわった総本店

味とムードが ミピッタリ

忘年コンパ・新年コンパ

若人の集いを楽しくする

レストラン スター

総本店

京. 寺町錦上ル TEL (221) 3128 (代)

京極支店 新京極四条上ル TEL (221)-2555

祇園支店 四条縄手東入ル TEL (561)-4101

西陣支店 千本一条上ル TEL (461)-1903

大宮支店 四条大宮東入ル TEL (841)-3405

さむい日の楽しいお集りに、なべパーティーはいかがでしょう？

寄せなべ うどんなべ

お1人様**400円**より
何名様でもお受け致します

職場のグループやご家族で、
気の合ったお友だちどうしあ
ったかァい鍋をかこんでお楽
しみくださいませ。

幹事さん、今すぐダイヤル
してください。早速、係員
が、打合せに参ります。

春 陽 堂
文化センター店

☎761-1439

京都市左京区聖護院川原町4の13
京都教育文化センター内



(株) 河合楽器製作所